

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームあいやま こもれびの家
作成日 平成26年11月24日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	23	介護職や関係する職員の入れ替わりによって、認知症ケアの意識や対応、経験の差が大きくなり、統一した対応の定着が難しい。	入居者に係わる者が知識や情報を共有することで、ホームの質が向上できるよう努める。	①認知症高齢者グループホームの目的を意識して、認知症者の思いを理解できるよう努める。	1年間
				②事業所に配置している、業務に係わる資料や書籍等を積極的に活用し学習に努める。	1年間
2	26	入居者の認知症の進行と、中核症状や周辺症状の変化への対応に苦慮している。	①入居者の精神と身体状態を観察する知識を学ぶ。 ②入居者から得た情報をアセスメントを経て整理し、日常のケアを考える。	①入居者の生活の様子を意識を持って観察し、入居者の認知症の状態について学ぶ。	1年間
				②「アセスメントのための情報収集シート151」の使い方をチームで学び、使い方に慣れる。	1年間
				③介護計画の見直し(3ヶ月)以外にも、随時介護計画を振り返り、モニタリングを行う事で状態の変化を観る。	1年間

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。